

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北陸学院大学
設置者名	学校法人北陸学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	専門科目	合計		
人間総合	子ども教育（1～3年） 〔幼児教育・保育コース〕	夜・通信	7	97	104	13	
	子ども教育（1～3年） 〔幼児・児童教育コース〕	夜・通信		100	107	13	
	子ども教育（1～3年） 〔初等・中等教育コース〕	夜・通信		86	93	13	
	社会	夜・通信	2	58	60	13	
(備考) ・子ども教育学科は、取得する資格によりコースが分かれており、履修科目が異なる。							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ内 「情報公開」 ページに記載 <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北陸学院大学
設置者名	学校法人北陸学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページ内 情報公開ページ 1. 教育研究上の基礎的な情報 URL: <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	日本基督教団牧師 (現職)	2021 (R3) . 6. 1 ～2025 (R7) . 5. 31	キリスト教センターにおける、キリスト教教育及びキリスト教活動に係る事項の担当外部理事 (〔上記役割を担う外部理事としての任期〕 2021 (R3) . 6. 1 ～2023 (R5) . 5. 31)
非常勤	株式会社北国書林 相談役 (前職)	2019 (R1) . 6. 1 ～2023 (R5) . 5. 31	経営戦略担当外部理事 (〔上記役割を担う外部理事としての任期〕 2021 (R3) . 6. 1 ～2023 (R5) . 5. 31)
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北陸学院大学
設置者名	学校法人北陸学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>[※以下、本学人間総合学部各学科共通の取組である。]</p> <p>学生が主体的に学修を進めていく際の指針となるように、全科目について教育目標や成績評価基準、授業外の事前・事後学習等の具体的な内容について教授要目(シラバス)により情報提供を行っている。</p> <p>教授要目(シラバス)の作成にあたっては、前年度11月～12月にかけて作成上の注意事項を記載したマニュアルを全教員に配布し、作成依頼を行っている。その後、各教員が作成したシラバスの内容について、教務部長、FD部会員、各学科教務担当教員がマニュアルに沿って作成されているかチェックを実施し、必要に応じて作成者にフィードバックし、修正を依頼している。このように第三者チェック体制を整備し、単位の実質化を図っている。</p> <p>教授要目(シラバス)は、新年度開始前の3月下旬に教務システム上で電子シラバスを公開している。また、ホームページ上にも掲載し公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学ホームページ内 情報公開ページに記載</p> <p>2022年度教授要目</p> <p><a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>[※以下、本学人間総合学部各学科共通の取組である。]</p> <p>成績評価に関しては、学則および履修規程に基づき、各授業科目の教育目標に対する受講生の到達度を把握するため、講義・演習等の授業形態に応じた適切な評価方法及び評価基準に基づき行っている。各科目の成績評価方法と基準については、教授要目(シラバス)において明示している。成績の評価方法は、定期試験(筆記、口述、実技、論文、レポート等の方法を含む)、履修期間中の平常成績(臨時試験、小テスト、課題、授業への参加態度、予習復習等の自主的学習態度等を含む)を総合して行う。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

[※以下、本学人間総合学部各学科共通の取組である。]

GPA制度を導入し、シラバスに記載されている成績評価の算定基準や方法とも整合性を持たせ、より適正な運用に努めている。学生の成績評価をより明確にすることにより、授業に対する学生の意識を高めるとともに、学期ごとの学習指導に役立てている。

成績評価は、S、A、B、C、F及びXをもって表示し、F及びXを不合格としている。GPAは、成績評価に応じて付与されたポイントに単位数を乗じて得た数の総和を総履修登録単位数（T〔単位認定〕及びW〔履修中止〕を除く）で除して算出している。なお、GPAの計算において、再履修した場合には、再履修する前の単位数を、履修申告した科目の単位数の合計から除外して計算している。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

大学ホームページ内 情報公開ページに記載  
2022年度学生要覧

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

北陸学院大学の卒業認定・学位授与についての方針（ディプロマポリシー）は下記のとおりである。

[学部共通]

- ① キリスト教的人間観を理解し、生涯にわたって、自分に与えられた使命（Mission）を発見し、実現しようとする力が身についている。
- ② 全学共通科目の履修を通して幅広い知識と教養が身についている。
- ③ 学科での学びを通して、自ら課題を設定して探求することができる。
- ④ 4年間での学びを通して、自らの考えを口頭や文章によつて的確に他者に伝えることができる。

[子ども教育学科]

- ⑤ 幼児教育及び初等・中等教育において、保育者・教育者の役割や職務内容を良く理解している。
- ⑥ 子どもの育ちや発達、英語・英語教育に関する専門的知識に基づき、幼・小・中・高の教育連携、自らの教育観並びに保育観、子ども観を自分の言葉で語り、実践できる。
- ⑦ 子どもの育ちや発達に関する専門的知識に基づき、子どもや保護者に寄り添って自らの教育観並びに保育観、子ども観を自分の言葉で語り、実践できる。

〔社会学科〕

- ⑤ 現代社会が直面する問題を、社会学を中心に心理学・社会福祉学などのその他関連領域の理論と実証的データに基づいて理解できる。
- ⑥ 現代社会が直面する問題の解決のために、自ら設定した課題を探求し、貢献できる。
- ⑦ 現代社会が直面する問題の解明のために、実験・社会調査・フィールドワークができる。

本学の卒業要件は、上記方針に基づき、学則に定める教育課程の各科目を履修し、学科ごとに定める区分ごとの必要単位数を取得した上、合計単位数を満了することと定めている。

なお、卒業要件である 124 単位以上の単位修得をもって、ディプロマポリシーに定めるすべての能力を修得できる科目配置をしている。(各科目のディプロマポリシーの対応状況は、「科目見取表」により確認可能。)

卒業認定の手順については、当年度の成績が確定した後、教学・学生支援センター運営会議において、修得単位数等、卒業要件を満たすことが確認された後、教授会において卒業判定を行い、承認される。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

大学ホームページ内 情報公開ページに記載

2022 年度学生要覧

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北陸学院大学
設置者名	学校法人北陸学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>
財産目録	<a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>
事業報告書	<a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ内 情報公開ページ <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間総合学部
教育研究上の目的 (公表方法：法人ホームページ内 情報公開ページ 1. 教育研究上の基礎的な情報 <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a> )
(概要) 〔子ども教育学科〕 人生の初期段階の乳幼児期から青年前期にわたる発達に関する包括的視野と学問的実践力を培うことを教育研究の目的とし、もって科学的探求心と知的創造力を備えた人間形成の補助者・先導者としての保育者・教育者を育成する。  〔社会学科〕 人間についての理解と学びを社会の視点から複眼的にとらえ、知識を統合しつつ、その集大成として専門的知識とともに幅広い教養に裏打ちされた心の豊かさや人間的資質を備えた人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：大学ホームページ内 情報公開ページ 2022 年度学生要覧 <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/</a> )
(概要) 北陸学院大学では、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定する。  〔学部共通〕 ① キリスト教的人間観を理解し、生涯にわたって、自分に与えられた使命 (Mission) を発見し、実現しようとする力が身についている。 ② 全学共通科目の履修を通して幅広い知識と教養が身についている。 ③ 学科での学びを通して、自ら課題を設定して探求することができる。 ④ 4 年間での学びを通して、自らの考えを口頭や文章によつて的確に他者に伝えることができる。  〔子ども教育学科〕 ⑤ 幼児教育及び初等・中等教育において、保育者・教育者の役割や職務内容を良く理解している。 ⑥ 子どもの育ちや発達、英語・英語教育に関する専門的知識に基づき、幼・小・中・高の教育連携、自らの教育観並びに保育観、子ども観を自分の言葉で語り、実践できる。 ⑦ 子どもの育ちや発達に関する専門的知識に基づき、子どもや保護者に寄り添って自らの教育観並びに保育観、子ども観を自分の言葉で語り、実践できる。  〔社会学科〕 ⑤ 現代社会が直面する問題を、社会学を中心に心理学・社会福祉学などのその他関連領域の理論と実証的データに基づいて理解できる。 ⑥ 現代社会が直面する問題の解決のために、自ら設定した課題を探究し、貢献できる。 ⑦ 現代社会が直面する問題の解明のために、実験・社会調査・フィールドワークができる。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大学ホームページ内 情報公開ページ 2022年度学生要覧

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/about/pubinfo/>)

### (概要)

北陸学院大学では、教育理念に掲げた人材を育成するために、人間総合学部には社会学科と子ども教育学科を置き、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成する。

### [学部共通]

- ① 学部の掲げるディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、4つの科目群を配置し、系統的な履修を促す。「全学共通科目」群（「北陸学院科目」、「総合教養科目」、「言語教育科目」、「スポーツ・健康科目」、「キャリア教育科目」）、「基幹科目」群、「学科専門科目」群、「資格科目」群。
- ② 学生の学修能力の状況に合わせた段階的な科目配置を行う。大学での学びに必要なスタディスキルズから始まり、主体的な学びに必要な課題探究能力、批判的分析思考能力、情報リテラシー、コミュニケーション能力など、社会において欠くことのできない能力の育成を達成するために、「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」（1年次）、「プロゼミA・B」（2年次）、「専門ゼミⅠ」（3年次）、「専門ゼミⅡ」（4年次）などを配置する。
- ③ 学生が自ら目指す進路のために学科別教育課程を配置する。

### [子ども教育学科]

- ④ 専門的な知識と方法論を系統立てて学ぶために、「初等・中等教育コース」、「幼児・児童教育コース」、「幼児教育・保育コース」を置く。
- ⑤ 1年次より現場体験学習を重視し、理論的学びと連動させる。
- ⑥ 人格形成や教育科学の視点から、子どもの育ちや発達に関する学科専門科目を配置する。
- ⑦ 専門の学びに関連する資格科目を配置する。

### [社会学科]

- ④ 社会への理解を深めるために、データに基づき社会の様々な現象を検証する技能を理論的に身につけることを重視する。  
1年次では、社会学とその関連領域および社会調査に関する基礎的な知識・技能を学び、2年次からの専門的な学びにつなげる。  
2年次以降は、学科専門科目の基礎となる科目群として「基本科目」、より専門性の高い「応用領域」として「文化と共生」、「くらしと政策」、「心理と社会」の科目群を配置する。
- ⑤ 自らの専門性と学修目標を認識し、系統的に履修できるよう、上記の科目の組み合わせより「現代社会・国際理解コース」、「心理・カウンセリングコース」、「環境福祉マネジメントコース」、「政治経済・経営コース」、「情報・図書館司書コース」の履修モデルコースを示す。
- ⑥ 専門の学びに関連する資格科目を配置する。



<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：法人ホームページ内 情報公開ページ 2—(2) 入学者受け入れ方針  <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>)</p>
<p>(概要)  北陸学院大学では、聖書に示された愛の精神に基づき、人と地域社会に貢献できる人材の育成を目指し、以下の入学生を受け入れる。</p> <p>[学部共通]  ① 北陸学院のスクールモットーである「Realize Your Mission (あなたの使命を実現しよう)」という精神に賛同し、本学で意欲的に学ぶ意思がある者。  ② 専門的な知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有している者。(※)</p> <p>[子ども教育学科]  ③ 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・中学校教諭(英語)・高等学校教諭(英語)を目指し、学業に意欲的に取り組むことができる者。  ④ 人間の発達や成長に関心のある者。</p> <p>[社会学科]  ③ 社会のさまざまな課題に意欲的に取り組むことができる者。</p> <p>(※) 入学に際し基礎学力テストを実施して、英語・日本語の基礎学力が不足している場合には、「英語基礎」、「日本語基礎」の学びを義務づける。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：法人ホームページ内 情報公開 1.教育研究上の基礎的な情報  <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a></p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数(本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人・ 1人	—					2人
人間総合学部	—	15人	7人	6人	1人	0人	29人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数(兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人・0人		40人				40人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/intro-univ/lab/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/intro-univ/lab/</a>					
c. FD(ファカルティ・ディベロップメント)の状況(任意記載事項)							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間総合学部	140人	104人	74.3%	560人	549人	98.0%	0人	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	140人	104人	74.3%	560人	549人	98.0%	0人	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間総合学部	138人 (100%)	2人 (1.4%)	125人 (90.6%)	11人 (8.0%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	138人 (100%)	2人 (1.4%)	125人 (90.6%)	11人 (8.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
[※以下、本学人間総合学部各学科共通の取組である。]
学生が主体的に学修を進めていく際の指針となるように、全科目について教育目標や成績評価基準、授業外の事前・事後学習等の具体的な内容について教授要目(シラバス)により情報提供を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>[※以下、本学人間総合学部各学科共通の取組である。]</p> <p>成績評価は、各授業科目の教育目標に対する受講生の到達度を把握するため、講義・演習等の授業形態に応じた適切な評価方法及び評価基準に基づき行っている。各科目の成績評価方法と基準については、教授要目（シラバス）において明示している。</p> <p>成績の評価方法は、定期試験（筆記、口述、実技、論文、レポート等の方法を含む）、履修期間中の平常成績（臨時試験、小テスト、課題、授業への参加態度、予習復習等の自主的学習態度等を含む）を総合して行う。</p> <p>また、本学の卒業要件は、ディプロマポリシーに基づき、学則に定める教育課程の各科目を履修し、学科ごとに定める区分ごとの必要単位数を取得した上、合計単位数を満了することと定めている。</p> <p>なお、卒業要件である 124 単位以上の単位修得をもって、ディプロマポリシーに定めるすべての能力を修得できる科目配置をしている。（各科目のディプロマポリシーの対応状況は、「科目見取表」により確認可能。）</p> <p>卒業認定の手順については、当年度の成績が確定した後、教学・学生支援センター運営会議において修得単位数等卒業要件を満たすことが確認された後、教授会において卒業判定を行い、承認される。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間総合	子ども教育	124 単位	有・無	単位
	社会	124 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：</p> <p>法人ホームページ内 情報公開ページ 1 教育研究上の基礎的な情報</p> <p><a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a></p>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間総合 学部 (※2020 年度以降 入学者)	子ども 教育学科	640,000 円	200,000 円	368,000 円	施設設備費、実習費
	社会学科	640,000 円	200,000 円	366,000 円	施設設備費、実習費
人間総合 学部 (※2019 年度以前 入学者)	子ども 教育学科	640,000 円	200,000 円	344,000 円	施設設備費、実習費
	社会学科	640,000 円	200,000 円	344,000 円	施設設備費、実習費

※2020 年度入学生より授業料改定

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の修学支援に関しては、教学・学生支援センターを設置し、運営会議における審議を経て、学生生活全般の支援（通学、各種奨学金、住居等）を、教学・学生支援センターの学生支援係が行っている。なお、経済的支援に関しては、本学独自の奨学金制度を設け、支援体制を充実させている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生のキャリア教育と就職支援に関しては、教学・学生支援センターを設置し、運営会議での審議を経て、支援を行っている。教学・学生支援センターの学生支援係およびセンター所属教員ならびに学科担当教員が連携し、学生一人ひとりに合わせたきめ細やかな支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリング、学生の相談のため、カウンセリングルームおよび保健室を設けている。カウンセリングルームは、週3日間 9:00～16:00 の間予約制でカウンセリングを受け付けている。また、保健室でも相談を受け付けし、カウンセリングが必要と判断される場合にはカウンセラーと連携し支援している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：法人ホームページ内 情報公開ページ 2—(7) その他教育研究上の情報及び財務情報 <a href="https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/">https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/finance/</a>
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F117310105512
学校名	北陸学院大学
設置者名	学校法人北陸学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		71人	73人	75人
内 訳	第Ⅰ区分	37人	42人	
	第Ⅱ区分	15人	19人	
	第Ⅲ区分	19人	12人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				75人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下）	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	11人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	11人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。